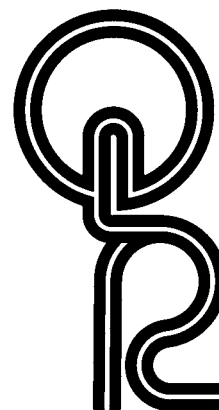


QR Newsletter

第四紀通信

Vol. 23 No.3, 2016



下総層群木下層剣尺部層
(大洗町神山町の露頭)
調査者：岡田 誠・小西拓海
撮影者：小島隆宏

Vol. 23 No. 3

June 1, 2016

2016 年大会案内 (第 4 報)	2	60 周年記念事業実行委員会議事録...	8
QI 日本特集号原稿募集.....	6	組織改革委員会議事録	9
ジオパークシンポジウム案内【再掲】		幹事会議事録.....	10
.....	7	学生会員継続届提出のお願い	11
第四紀学会講習会のお知らせ	8	会員消息.....	11

◆日本第四紀学会 2016年大会案内（第4報）

本大会は、日本第四紀学会 60周年記念シンポジウム「第四紀学の新しい展開をめざして」を中心に開催いたします。新たに設けられる5領域における展開と、領域間での連携をご議論下さい。シンポジウムについては一般研究発表から1～2件をお願いするかもしれませんので、ご承知おき下さい。

1. 開催日程

2016年9月17日（土）～9月20日（火）

9月17日（土）評議員会・60周年記念大会趣旨説明・シンポジウム1・シンポジウム2・一般研究発表（ポスター）

9月18日（日）シンポジウム4・一般研究発表（ポスター）・総会・シンポジウム5・懇親会

9月19日（月、敬老の日）一般研究発表（口頭）・シンポジウム3

9月20日（火）巡検（予定）

2. 開催場所

千葉大学 西千葉キャンパス・けやき会館（千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33）

（地図は3ページ参照）

3. 発表の申し込み

1) 発表者の資格と発表件数の制限

一般研究発表には口頭発表とポスター発表があります。筆頭発表者は本学会の会員に限ります。お申し込み頂ける発表件数は、口頭発表およびポスター発表それぞれ1人1件ずつです。

ただし、本大会は60周年記念シンポジウムを中心として開催されるため、一般口頭発表件数が例年よりも少なくなるため、口頭発表として申し込み頂いてもポスター発表をお願いする場合がございます。その場合には2件ともポスターでの発表をお願いすることになりますので、どうぞご承知おき下さい。また、発表日が口頭発表（9月19日のみ）とポスター発表（9月17日および18日）とで異なっておりますので、お申し込みの際にはご注意ください。

2) 発表の形式と発表時間

発表申し込み時に、口頭発表かポスター発表か、もしくはどちらでも良いかを選択してください。口頭発表の申し込み件数によっては必ずしも希望の発表形態にならない場合もあります。あらかじめご了承ください。

口頭発表の時間は質疑応答時間を含めて1件12分程度を予定しています（発表件数によって変更の可能性あります）。十分な説明や討論を希望する方にはポスター発表への申し込みをお勧めします。

3) 発表申し込みと講演要旨の送付方法

一般研究発表の希望者は、日本第四紀学会ホームページ（<http://quaternary.jp/index.html>）の大会・総会の2016年大会のサイトの「発表申込書」と「講演要旨の原稿」に関するリンク部分からファイルをダウンロードし、必要事項を記入の上、以下の案内にそって申し込みを行ってください。

・発表申込書と原稿は添付ファイルとして専用のアドレス [jaqua.event \(at\) gmail.com](mailto:jaqua.event@gmail.com) に送付してください（atを@にかえる）。メールの題名は「発表申込_筆頭発表者名」、添付ファイル名は「講演要旨_筆頭発表者名」としてください。2件申し込む場合は題名の後ろにA、Bをつけて両者を区別して送信してください。

・講演要旨の原稿はA4で1ページ（図表掲載可）です。2016年大会ウェブサイトの「講演要旨原稿の書き方及びテンプレート」にある書き方にそって作成してください。

・手書きによる原稿、および郵送による投稿の方は上記専用アドレスにお問い合わせください。

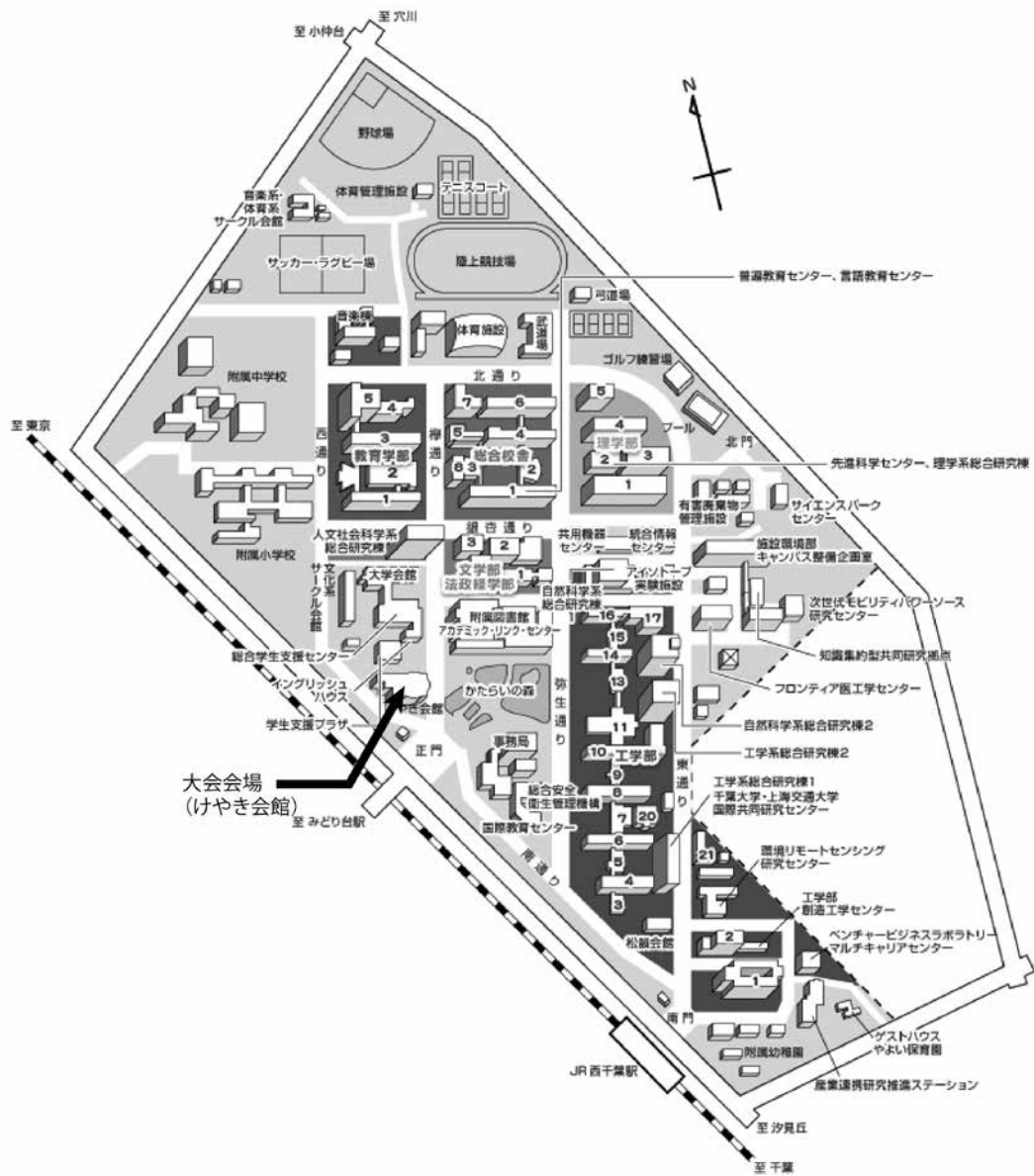
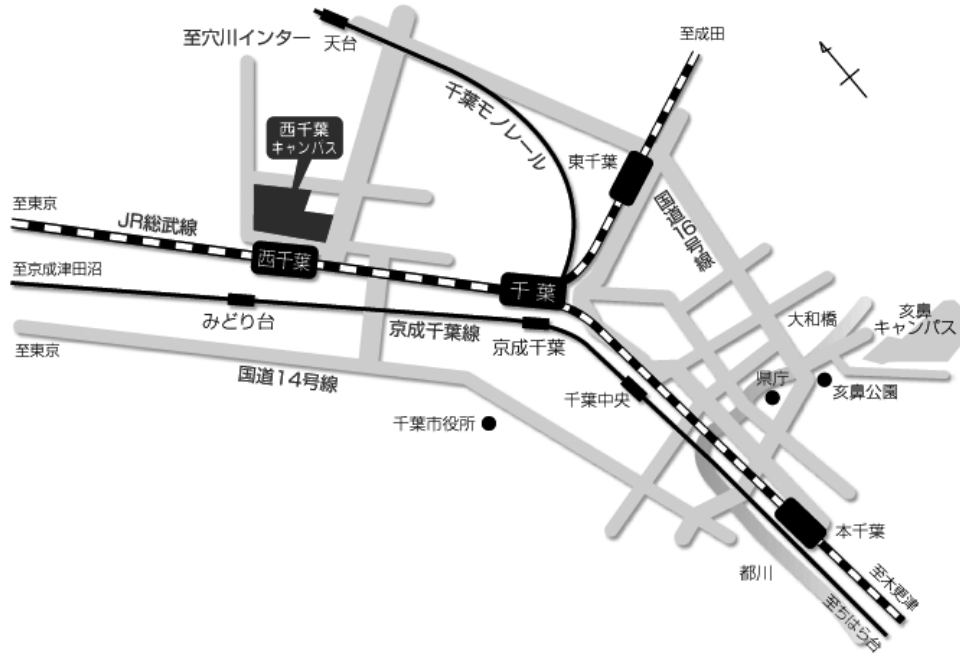
・本学会員で39歳以下（2016年8月1日時点）の方は、若手・学生発表賞にエントリーすることができます。エントリー希望の方は、申込書の該当箇所に記入して下さい。積極的なエントリーを期待しております。

・申し込みと講演要旨原稿の締切り **6月30日（木）**（締め切り厳守）。

4. 参加費・懇親会

○大会参加費：2,000円（会員・非会員を問わず）。会場受付でお支払い下さい。

ただし、大学院生の会員は1,500円、70歳以上の会員と学部学生、シンポジウム依頼講演者は無料です。



2016年大会案内

- 講演要旨集：予定価格 2,000 円
(会場で直接販売。ただし、発表数等によって価格が若干変動する場合があります)
- 会期中の昼食：学外の西千葉駅周辺の食堂(中華・カレー・ラーメン・定食・牛丼ほか)、コンビニエンスストアが利用できます(学内生協食堂は休み)。
- 懇親会に参加される方は申し込みをお願いいたします。
日 時：9月18日(日) 18:00～(予定)
会 場：千葉大学 大学会館内生協フードコート(大会会場に隣接)
参加費：一般 3,500 円(予約)・4,000 円(当日)、学生 2,000 円(予約)・2,500 円(当日)
予 約：8月19日(金)までに e-mail: jaqua.event (at) gmail.com(懇親会担当・宮内崇裕)までご連絡下さい。申し込み時のメールの題名は「懇親会_氏名」としてください。

5. シンポジウム

本大会では、日本第四紀学会 60 周年記念シンポジウム「第四紀学の新しい展開をめざして」を開催いたします。現在までに決まっている講演内容は下記の通りです。来年度に実施される選挙から運用することが予定されている「領域」の活動内容を紹介する企画となっておりますので、ぜひともご参加下さい。

- ・シンポジウム 1『気候変動及び海洋の諸プロセス』(世話人：横山祐典・中川 毅・斎藤文紀)
マヤ・モタディ「モンスーン変動と中低緯度の古気候」
横山祐典「宇宙線生成核種と地球化学分析を組み合わせた氷床変動と気候変動研究」
加 三千宣「太平洋規模で変動する海洋生態系：魚鱗化石記録からみたレジームシフトの長期動態」
田村 亨「海岸進化研究の可能性」
- ・シンポジウム 2『陸上の諸プロセス』(世話人：須貝俊彦・吾妻 崇・苅谷愛彦)
吾妻 崇「古地震研究と第四紀テクトニクス」
丹羽雄一「沖積平野の埋積過程を踏まえた古地震・地殻変動の研究(仮)」
奥野 充「火山地質地形学による噴火史研究」 ほか 3 件
- ・シンポジウム 3『層序と年代基準』(世話人：水野清秀・鈴木毅彦・岡田 誠・奥村晃史)
岡田 誠「前期/中期更新世境界(仮)」
鈴木毅彦「これからのテフラ研究」
田辺 晋「完新世の細分と沖積層」
塚本すみ子「OSL 年代測定(仮)」 ほか 2 件
- ・シンポジウム 4『人類と生物圏』(世話人：米田 穰・百原 新・北村晃寿)
海部陽介「人類を大きく変貌させた第四紀」
工藤雄一郎「第四紀研究と先史考古学(仮)」
那須浩郎「第四紀の人と植物の共進化(仮)」
斎藤めぐみ「珪藻の進化および地理的分布の変遷の舞台としての第四紀」
北村晃寿「第四紀環境変動に対する動物の生物地理的・進化的応答(仮)」
- ・シンポジウム 5『現代社会に関わる第四紀学』(世話人：植木岳雪・目代邦彦・小荒井 衛)
(講演者調整中)

6. 巡検

巡検については現在準備中です。大会ウェブサイトにてご案内いたします。

<http://www.quaternary.jp/meeting/meeting2016.html>

7. 重要日程

- ・一般発表申し込み締め切り：6月30日(木)
- ・懇親会予約申し込み締め切り：8月19日(金)
- ・巡検申し込み締め切り：大会ウェブサイトにてご案内します

8. 大会実行委員会

大会実行委員長：宮内崇裕

実行委員会：金田平太郎・百原 新・岡田 誠・小森次郎・米田 穰

連絡先：2016年大会実行委員会事務局

〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33 千葉大学理学部

大会用 E-mail アドレス：jaqua.event(at)gmail.com

日本第四紀学会 2016年大会 発表申込書

本申込書はメールの添付ファイルとして提出してください。メールのタイトルは「発表申込_筆頭発表者名」としてください。一般研究発表の筆頭発表者は日本第四紀学会会員である必要があります。

◆氏名・所属： _____

◆発表タイトル： _____

◆筆頭発表者の連絡先 電話番号： _____ メールアドレス： _____

- ◆発表の希望枠： () 一般研究発表 口頭発表(発表日：9月19日)
 () 一般研究発表 ポスター発表(発表日：9月17日, 18日)
 () 一般研究発表 口頭/ポスターどちらでもよい

なお、本大会は60周年記念シンポジウムを中心に開催しますので、口頭発表の数に制限がございます。口頭発表で申し込み頂いても、ポスター発表をお願いする場合がございますので、ご承知おき下さい。

◆若手・学生発表賞へのエントリー

本学会員で39歳以下(2016年8月1日時点)の方は若手発表賞に、学生会員の方は学生発表賞にそれぞれエントリーすることができます。エントリー希望の方は次の該当する項目の括弧に○印をつけてください。

() 若手部門 () 学生部門

◆以下の「講演要旨執筆上の注意」を理解し、その内容を遵守するならば次の文章に氏名を記入して下さい。

私、() は「講演要旨執筆上の注意」を理解し、その内容を遵守します。

講演要旨執筆上の注意

2016年3月現在、講演要旨の著作権につきましては、厳密な規定がありません。そこで、現段階では基本的には発表者の方に著作権があるものと判断します。一方、昨今の知的財産権をめぐる情勢から見て、送付いただいた講演要旨に図の転載許可が得られていないものや、文献の引用が不十分なものがあると、問題が生じる可能性があります。従いまして、以下の点についてご注意の上で執筆下さるようお願いいたします。なお、これらに照らし合わせて問題があると判断された講演要旨原稿については、原稿受付後であっても再提出を求める場合があります。

- 1) 既存の出版公表物などに対する知的財産権へのいかなる侵害も含まないこと。
- 2) 他から転載されている全ての図表について、転載許可を得ていること。
- 3) 他の論文等の引用がある場合には、当該文献を全て明記する。引用形式としては、「竹内ほか(2005)第四紀研究, 44, 371-381.」などのように、引用箇所が判別できる限りにおいて簡略化して構わない。
- 4) 日本第四紀学会の名誉を傷つけ、第四紀研究の信用を毀損する盗用データ、捏造データ、その他、当学会の倫理憲章に反するものを含まないこと。
- 5) 講演要旨についての問い合わせ、苦情、紛争などが発生した場合、発表者はすべての責任を負うこと。

以上

◆ Quaternary International 日本特集号（その2）原稿募集のお知らせ

国際第四紀学連合第19回大会を機に準備してきました Quaternary International (QI) からの特集号が2016年3月に出版になりました。投稿して頂いた皆様、また査読などご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。48本の論文からなる特集号は、現在 QI 誌のホームページから1年間限定でオープンアクセスになっています。この期間は自由にダウンロードが可能ですので、是非まわりの皆様にも、お知らせください。

Quaternary International, volume 397, pp. 1-588. Japanese Quaternary Studies, Guest Editors: Y. Saito, K. Okumura, T. Suzuki, Y. Yokoyama and M. Izuho
<http://www.sciencedirect.com/science/journal/10406182/397>

2016年から新しく QI 誌の編集長に就任した台湾の Chen Min-Te 教授に、日本特集号「その2」について打診しましたところ、快諾して頂きました。

正式な提案には、特集号に掲載予定の論文に関して以下の情報をとりまとめて編集長に送付する必要があります。

投稿希望の方は、6月15日までに、以下の内容をメールで齋藤までお送りください。

投稿の締切は、2016年10月末、受理された論文は逐次オンラインで公表し、正式な出版は2018年を予定しています。

メールの件名：QI 日本特集号（その2）投稿希望

特集号：Japanese Quaternary Studies (Part 2)：ゲストエディター：齋藤文紀、奥村晃史、鈴木毅彦、横山祐典、出穂雅実

（タイトルと全著者は、現時点の予定で結構です）

タイトル（英文）：

全著者（英文）：

連絡著者の氏名、所属と連絡先 E-mail（英文）：

要旨（数行の英文）：

査読者（2名：少なくとも1名は、海外の研究者）（英文氏名所属と e-mail）

（上記の5名のゲストエディターは除いてください）

希望する編集担当者（上記5名の内の2名）：（第1希望、第2希望）

締切：2016年6月15日、メール送付先：yoshiki.saito(at)aist.go.jp

皆様の投稿申し込みをお待ちしています。

ゲストエディター代表 齋藤文紀

◆「ジオパークシンポジウム：考古学、人類学、土壌学の視点から」のご案内【再掲】

日本第四紀学会ジオパーク支援委員会と「社会のための第四紀学」研究委員会が協力して、ジオパークのすそ野を広げることを目指して、以下のシンポジウムを開催します。ふるって、ご参加下さい。

開催日：2016年6月19日（日）

場 所：明治大学駿河台校舎リバティタワー 1階 1011 教室
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

主 催：日本第四紀学会

共 催：明治大学黒耀石研究センター

後 援：日本考古学協会、日本旧石器学会、日本人類学会、日本土壌肥料学会、日本ペドロロジー学会、
日本ジオパークネットワーク

参加費：無料

事前登録：なし

プログラム

1300-1330	ジオパークに関する最近の動向	目代邦康（自然保護助成基金）
1330-1400	旧石器考古学とジオパーク	小野 昭（明治大）
1400-1430	古墳考古学とジオパーク	北條芳隆（東海大）
1430-1445	埋蔵文化財行政とジオパーク	赤塚弘美（銚子市）
	休憩	
1500-1530	自然人類学とジオパーク	藤田祐樹（沖縄県博）
1530-1600	人類学のツアー実践	高橋 巧（ガンガラーの谷・ハブ博物館）
1600-1630	土壌学とジオパーク	浅野真希（筑波大）
1630-1730	コメント・総合討論	

問い合わせ先

植木岳雪（千葉科学大学・危機管理学部）
メール：tueki(at)cis.ac.jp

◆第四紀学会講習会：第四回放射性炭素年代測定室ワークショップのご案内

日 程：6月21日（火）～24日（金）

場 所：東京大学 総合研究博物館（6月21～23日）・筑波大学 研究基盤総合センター 応用加速器部門（24日）

主 催：東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室・筑波大学研究基盤総合センター応用加速器部門

共 催：東京大学総合研究博物館加速器分析室・日本第四紀学会

参加条件：労災保険または傷害保険に加入していること。

参加申込み：nendai(at)um.u-tokyo.ac.jp までメールでご連絡ください。

締め切り：2016年6月13日（月）17時

問い合わせ：東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-2483/ FAX：03-5841-8451

E-mail：nendai(at)um.u-tokyo.ac.jp

ホームページ：http://c14.um.u-tokyo.ac.jp

●ワークショップ内容（予定）

・6月21日（1日目）10:00～17:00

実習 コンパクト AMS の見学

講習 放射性炭素年代測定の実践と問題

・6月22日（2日目）10:00～17:00

講義 較正年代の推定と問題

講義・実習 前処理プロトコル

・6月23日（3日目）10:00～16:15

講義・実習 放射性炭素年代のベイズ推定

・6月24日（4日目）10:00～15:00

筑波大学研究基盤総合センター応用加速器部門の見学（午前中のみ参加も可、現地集合・解散）

<http://web2.tac.tsukuba.ac.jp/uttac/>

・EA+ 炭素試料自動処理装置の見学と実習

・GC-AMS 試料処理装置の見学

・CO₂ ガス導入型 AMS の見学

1～3日目は東大本郷キャンパスで、4日目は筑波大学で開催いたします。

部分参加も可能ですので、その場合は参加希望の日程を明記して下さい。

定員オーバーの場合は、全日程参加者を優先させて頂きますのでご了承下さい。

◆日本第四紀学会学会設立 60周年記念事業実行委員会第1回会合議事録

日時：2016年4月2日（土）10:00～12:00

場所：明治大学 駿河台キャンパス Global Front
7階 C4 会議室

出席：小野 昭会長、奥村晃史副会長、斎藤文紀副会長、吾妻 崇、植木岳雪、北村晃寿、中川 毅、水野清秀、目代邦康、米田 穰

欠席：宮内崇裕、岡田 誠、小荒井 衛、須貝俊彦、百原 新、横山祐典

<審議事項>

1. 設立60周年記念大会において行われる領域ご

とのシンポジウムに関して審議し、これまでの案から以下の点を変更することとした。

(1) 養老セクションの巡検を9月20日（火）に行う予定があることに配慮し、それに関連する「領域3」のシンポジウムが9月19日（水）午後に来るようにスケジュールを変更した。

(2) シンポジウムを開始する前に、記念大会の挨拶と領域設定の趣旨説明の時間を追加した。

(3) シンポジウムの発表内容について、下記の研究分野について講演者を選出することとし、その候補者について審議した。

領域1「気候変動及び海洋の諸プロセス」：海水準変動、気候変動、海岸地形、他1件。

領域2「陸上の諸プロセス」：テクトニクス、寒冷地形、土壌、乾燥、河川プロセス、火山噴火史。

領域3「層序・年代基準」：GSSP、テフラ、年代測定、古地磁気、完新世の細分。

領域4「人類と生物圏」：人類、考古、植物・古植生、分子系統、微化石、他。

領域5「現代社会に関わる第四紀学」：学校教育、企業、行政、マスコミ、市民活動。

(4) 講演者には「第四紀研究」特集号への寄稿を依頼する（投稿締め切り：2017年3月末）。依頼

文と領域区分に関する説明文書を用意し、講演者に渡す。

(5) 講演者の確認が得られた範囲で、講演者名と講演タイトルを6月に発行される「第四紀通信」に掲載する。

(6) 大会シンポジウムのテーマの原案を「第四紀学の新しい展望」とし、4月9日（土）までメールで審議する。

2. 学会HPの大会サイトについて、大会実行委員会の委員名を掲載することとした。

3. 大会シンポジウム以外の記念行事について審議した。

◆日本第四紀学会 2015年度第3回組織改革委員会議事録

日時：3月6日（日）10:00～15:30

場所：明治大学 駿河台キャンパス Global Front 7階 C4会議室

出席：小野 昭会長、奥村晃史副会長、斎藤文紀副会長、吾妻 崇、北村晃寿、須貝俊彦、水野清秀

欠席：小荒井 衛、百原 新

<報告事項>

1. 2015年度第2回評議員会での「組織改革に伴う会則及び役員選挙規定」に関する審議内容が報告された。

<審議事項>

1. 評議員数については原案の通り、40名とすることを確認した。

2. 2015年度第2回評議員会での指摘を受け、会則及び役員選挙規定について検討し、会則の第11条、第15条の一部を改訂した。また、役員選挙規定の第17条、第18条の4項、第24条の2、4項、第26条の一部を改訂し、第27条を削除した。この会則・役員選挙規定を評議員にメールで配信し、3月末までに意見を伺うこととした。

3. 役員選挙の詳細について検討し、以下の通りとした。

1) 春恒社が正会員ひとりずつ選挙用番号（最初の番号は領域1～5の番号）を付し、被選挙人名簿に記載する。

2) 会長と副会長に関しては、投票用紙に被選挙人の氏名を記し、候補者の氏名を○印で囲み、投票する。

3) 評議員に関しては、投票用紙に立候補・推薦さ

れた被選挙人の氏名を記し、候補者の氏名を○印で囲み、投票する。立候補・推薦された被選挙人以外を候補者とする場合には、選挙用番号を記す。

4. 各領域への活動経費として年間30万円を配分することを評議員会に諮ることとした。

5. 評議員選挙の方法の説明の際には、「評議員の人数分の投票ができる」ことを強調することとした。

6. 新組織の各種の規定・内規の見直し作業を検討し、3月末までに、庶務・会計関係は水野委員、行事・広報・渉外関係は吾妻委員、編集関係は北村委員、顕彰関係は奥村委員が原案を作成することとした。

7. 千葉大会のシンポジウムについて検討し、以下の通りとした。

1) 各領域の世話人を、領域1（気候変動及び海洋の諸プロセス）は中川 毅、横山祐典、斎藤文紀（組織改革委員会委員）、領域2（陸上の諸プロセス）は苅谷愛彦、吾妻 崇・須貝俊彦（組織改革委員会委員）、領域3（層序と年代基準）は岡田 誠、鈴木毅彦、奥村晃史・水野清秀（組織改革委員会委員）、領域4（人類と生物圏）は米田 穰、北村晃寿・百原 新（組織改革委員会委員）、領域5（現代社会に関わる第四紀学）は植木岳雪、目代邦康、小荒井 衛（組織改革委員会委員）とした。

2) 各領域の講演内容は、「第四紀研究」でそれぞれ1号分の特集号として出版し、原稿の締め切りは2017年1月末とし、早急に他の世話人に連絡することとした。

3) 各領域の世話人を「学会設立60周年記念事業実行委員会」に加えることとした。

第4回組織改革委員会を4月10日10:00～、明治大学で開催予定。

◆日本第四紀学会 2015 年度第 4 回組織改革委員会議事録

日時：4月10日(日) 10:00～16:30
場所：明治大学 駿河台キャンパス Global Front 7階 C4会議室
出席：小野 昭会長、奥村晃史副会長、齋藤文紀副会長、吾妻 崇、北村晃寿、小荒井 衛、須貝俊彦、水野清秀、百原 新

<審議事項>

- 60周年記念事業実行委員会の委員の構成について確認した。
- 千葉大会の一般口頭発表の運用について検討し、「一人当たりの発表時間(質疑時間を含む)を15分間から12分間への変更」と「ポスター発表の推奨」を第四紀通信で周知することとした。
- 新組織の各種の規定・内規の原案を検討し、以下の通りとすることとした。
 - 領域規程と執行部会規程を設け、組織、役職、目的、業務・職務、運営(活動内容)、変更の手続きを文書化することとし、領域規程の原案は吾妻委員が作成し、執行部会規程の原案は水野委員が作成する。

- 本議事で指摘された修正箇所は、原案担当者が修正する。
- 若手学術賞を設置することとした。対象は年齢39歳以下の正会員かつ第1著者の論文で、選考を行う年から3年以内に出版されたものとする。若手学術賞の選考規程は吾妻委員が作成する。
- 会則案の一部変更を行った。
 - 第14条「細則(細則,規定,内規など)」を「細則(細則,規定,内規など)」に変更。
 - 第15条「5つ程度」を「複数」に変更。
 - 第16条 2.「以外の会員」を「以外の者」に変更。
 - 第17条 4項を削除。
 - 第21条「施行に関わる細則は」を「施行に関わる細則(規程,内規など)」に変更。
なお、全般を通じて「規定」を「規程」に修正。
- 役員選挙規程案の一部変更を行った。
 - 第18条 6項を削除。

第5回組織改革委員会

5月7日 9:30～ 明治大学 駿河台キャンパス Global Front 7階 C4会議室

◆日本第四紀学会 2015 年度第 6 回幹事会議事録

日時：2016年5月7日(土) 13:30～17:30
会場：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント7階 C4会議室
出席：小野(会長)、齋藤文紀(副会長)、吾妻(幹事長)、藤原(編集)、米田(行事)、小森(企画)、兵頭(顕彰)、百原(庶務、議事録)、水野清秀(オブザーバー、大会関係)
欠席：奥村(副会長)、小荒井(渉外)、卜部(編集)、須貝(渉外)、植木(会計)、齋藤めぐみ(広報)

<報告事項>

- 幹事長**：60周年記念行事実行委員会第1回会合(4月2日開催)に出席し、千葉大会の進行等について検討した。組織改革委員会第4回会合(4月10日開催)、第5回会合(5月7日開催)に出席し、会則および規程類の改定について検討した。
- 庶務**：2015年度第5回幹事会(3月13日開催)の議事録を作成。大阪市立自然史博物館の特別展への後援依頼を承認。功労賞選考用資料を作成。
- 顕彰**：学会賞・学術賞候補者選考委員会第1回会合(4月23日開催)を開催し。授賞候補者を決定。論文賞・奨励賞候補者選考委員会の報告。
- 会計**：防災学術連携体の年会費納入を承認。
- 編集**：第4回編集委員会(3月26日)を開催。55巻3号(6月)初校、55巻4号(早稲田大会特集号)8月刊行予定。

- 行事・企画**：大会案内(シンポジウム)準備中。巡検の準備状況の報告。
- 渉外**：防災学術連携体からの要請に対応。日本地球惑星科学連合2016年大会において熊本地震に関する緊急セッションを共催することを承認。国際地学オリンピック組織委員会会議(4月23日)に、小森幹事が会長代理として出席。
- 広報**：『第四紀通信』第23巻2号を発行。会員MLへ情報を配信。学会HPを更新。
- 事務局**：会員消息報告。年度中途退会者のうち未入金会員の扱いについて検討。入会手続きを迅速に進めるための手続きを検討。
- INQUA 関係**：南アフリカで開催されるIGCの国際層序委員会会合に日本学術会議の代表派遣として齋藤副会長が出席。Quaternary International(日本特集号その2)の原稿を募集中。

<審議事項>

- 2016年学術大会(千葉大学)について**。巡検の案内者を実行委員に加えることとした。各領域のシンポジウムの話題提供者と講演タイトルの確認を行った。通信原稿の大会案内の準備について確認。
- 学会賞・学術賞候補者ならびに論文賞・奨励賞候補者の選考結果について**。選考結果について報告。論文賞選考委員の選考に際し、学会賞規定第

10条をふまえておらず、吉永秀一郎会員、那須浩郎会員が去年度の選考委員と重複していたことが判明。再度論文賞選考委員選挙を行うこととした。今後の対応と選考方法について協議した（投票用紙は5月13日に発送。締め切り5月29日、6月末までに選考結果報告書を提出、選考結果報告書を郵送で評議員に送り、7月中にメール審議を行う予定）。

3. **功労賞受賞候補者について。**候補者を選考し、6月19日に開催される評議員会に諮ることとした。

4. **防災学術連携体の活動への対応について。**8月に開催される火山ワークショップ参加への対応状況を確認した。

5. **事務局業務の契約内容確認。**契約書の確認を行った。

6. **その他** 炭素同位体年代測定法の講座を、第四紀講習会として行うこととした。

7. 熊本地震に関して、会費減免措置を検討することとした。

◆学生会員の皆さまへ「学生会員継続届け」提出のお願い

日本第四紀学会では、学生会員は、毎年在籍中であることを「学生会員継続届け」として提出して頂くことになっています。

2016年度（2016年8月1日～2017年7月31日）を学生会員として継続希望される方は、A4判の用紙（様式自由・ワープロ使用）に、申請者の所属・学年・氏名・連絡先・指導教官氏名を明記のうえ、指導教官の署名または捺印を添えてお送りいただくか、有効期限が明記された学生証のコピーを2016年7月31日（日）までに日本第四紀学会事務局まで郵送して下さい。本届が提出されない場合は、2016年度第1回目会費請求時に、正会員会費にて会費請求がされますので、ご注意ください。

なお、2016年度から学生会員として入会された方も提出願います。

また、日本学術振興会特別研究員（PD）や科学技術特別研究員などは通常会員となります。

問合先・送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号
 新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会事務局
 E-mail：daiyonki(at)shunkosha.com
 TEL：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176

提出方法：郵便に限ります。

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報幹事：齋藤めぐみ (memekato(at)kahaku.go.jp) 宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報の速報性
ということから、版下が出来た段階でホームページに掲載するよう努力しています。

奇数月 15 日頃にはホームページにアップするようにしていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 国立科学博物館 地学研究部 齋藤めぐみ
〒 305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 FAX : 029-853-8998

広報委員：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子 編集書記：岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイル
を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒 169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 10 階
株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176